

# 長崎高教組 第216回 定期中央委員会 組合の存在のありがたさを再確認し、 「声かけ」から「対話」を、 「明るく、気軽に、そして気長に」続けていきましょう。



発行  
〒850-0013 長崎市中央2丁目2番5号  
長崎高教組会館  
長崎県高等学校教職員組合  
☎ (095)-827-5882  
FAX (095)-826-2976  
編集責任者 小田 誠  
購読料 一部10円  
組合員は組合費に含む  
メールアドレス  
naga-kks@fsinet.or.jp



若い人に組合の話しをする、「組合の人、ガンバって下さい」と、他人事の言葉が返ってきてあきれてしまう。どうや



井野口 中央委員 (佐世保商業)  
つたら組合を自分の事として考えてくれるのか、難しさを感じている。人事方針の改定で、拡大職場集会を計画し、馬



佐藤中央委員 (佐世保東翔)  
パンフレットを作り、組合加入をすすめる。支部で企画実施した「釣り大会」は、未組合員や家族を含めて28人の参加があった。分会で声かけをしやすいう雰囲気

### 組織強化・拡大、職場活動

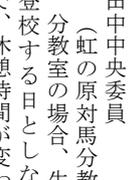
第1号議案を中心とする討論の後、議案の採決が行われ、4つ議案がすべて採決されました。以下、第1号議案に関する討論の概要を紹介し

長崎高教組は、1月24日(土)、諫早高城会館で定期中央委員会を開催し、県内各地から、各支部・分会の中央委員43人、本部4人が参加しました。執行委員長は挨拶で、第一に賃金確定交渉を通じて組合のありがたさや2300筆を超える重点要求署名に力を得たこと、「数は力」であることを強調し、組織の強化・拡大の必要性を訴えました。第二に、「キミたちを戦場に送らせない」の新聞意見広告にふれ、児童・生徒の未来に責任を持つ教職員として、未来を暗くするものに対して敢然と立ち向かうことを求めました。第三に、師走総選挙の自民党圧勝のウソを指摘し、またマルティン・ニーマラーの詩を紹介し、「海外で戦争できる国づくり」を進める安倍政権に反対の声を上げることと呼びかけました。

本部・今泉執行委員  
採用試験二次対策の模擬授業や面接練習に参加した16人のうち8人が合格しました。各職場でぜひ声かけをしてください。実習教員採用試験の対策学習会は別日程で行っています。西彼農業や



田中央委員 (虹の原対馬分教室)  
分教室の場合、生徒が登校する日としない日、休憩時間が変わります。



鈴木中央委員 (鳴滝通信)  
年休を打ち込むと管理職から「受理しました」という返信がほぼほぼきます。冬休みに承認研

出勤簿の電子化が始まって、教頭から「年休を書き込んだら一言かけてくれんね」としつこく言われていきます。年休には承認が必要であるかのような話もあったので、「年休は届けただけいいのですね」と確認し、一声かける理由を質しました。



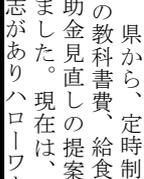
深松中央委員 (長崎鶴洋)  
7人の職場で、1人分会で、速報は全員に配布します。調整額の削減について大いに心が集まりました。ボーナスや退職金にも影響が出ること

田中央委員 (対馬分) 人事方針の改定で、特支の離島勤務は4年となった。従来は原則6年だったが、実際は3年で異動した。県教委交渉で、

井野口中中央委員 (佐商) STAP細胞の問題にかかわって、6月の朝日新聞に「成果主義の果て」という記事が、10月には「成果主義が過労死を招く」という一文が掲載されました。長崎県でも人事評価を賃金に反映させる動きがありますが、成果主義が賃金に導入されると教育は変質します。意向を無視した人事にならないか。第六地区の新設で、生徒の感情から先生方が希望しない学校だという思いを持たせることになる。離島手当があるように、第六地区手当は考えられないか。

### 生活上・権利の拡大

井野口中中央委員 (佐商) STAP細胞の問題にかかわって、6月の朝日新聞に「成果主義の果て」という記事が、10月には「成果主義が過労死を招く」という一文が掲載されました。長崎県でも人事評価を賃金に反映させる動きがありますが、成果主義が賃金に導入されると教育は変質します。意向を無視した人事にならないか。第六地区の新設で、生徒の感情から先生方が希望しない学校だという思いを持たせることになる。離島手当があるように、第六地区手当は考えられないか。



島津中央委員 (佐世保工業定時)  
実習教員の勤務条件の改善に対する署名、お礼を申し上げます。また、賃金確定交渉では、55歳昇給停止問題に関連して、理科実習教員の2級



鳥山中央委員 (鳴滝夜間)  
求職登録を行っていたら補助がなされています。仕事をしづらいグレイゾーンの生徒が増え、働くことが困難な生徒が増えています。定時制通信制で学ぶ生徒たちの攻撃です。現場の声を集めて、押し返しましょう。

### 民主教育の確立のとりくみ

現在離島勤務の人、過去中央高校の野田先生と全国の障害児教育の現状や問題点について全先生の障教部担当の土方先生に報告を受けました。インクルーシブ教育の問題点や保護者の戸惑いなどを共有して、特別な支援を必要としている生徒への理解、その対応策を学習します。未組合員を誘って、多くの先生の参加をお願いします。

井野口中中央委員 (佐商) ICT化が生徒にとって本当によいものかどうか疑問に思っている。機械でやりとりをするものと人間がやるものとはおのずから違いがある。ICT化を突き詰めれば、学校に人間、教員はいらなくなるということ。佐賀のICT教育の現状を伝える場を作りたいことを計画してほしい。

本部 寺田書記次長  
2月8日の冬の教研のテーマは、普通校における特別な支援の必要な生徒への対応です。普通校での対応策を実践している佐世保

井野口中中央委員 (佐商) ICT化が生徒にとって本当によいものかどうか疑問に思っている。機械でやりとりをするものと人間がやるものとはおのずから違いがある。ICT化を突き詰めれば、学校に人間、教員はいらなくなるということ。佐賀のICT教育の現状を伝える場を作りたいことを計画してほしい。

井野口中中央委員 (佐商) ICT化が生徒にとって本当によいものかどうか疑問に思っている。機械でやりとりをするものと人間がやるものとはおのずから違いがある。ICT化を突き詰めれば、学校に人間、教員はいらなくなるということ。佐賀のICT教育の現状を伝える場を作りたいことを計画してほしい。



### 平和・民主主義・国民的課題

井野口中中央委員(佐商) 先には、戦争があります。年末の解散総選挙、投票率の低さに愕然として、大切なとりくみだとあらためて思います。安倍内閣の進むよう取り組むことが必要です。

本部 寺田書記次長 数研の社会科教科書の従軍慰安婦の記述に変化がありました。教科書の一発検定ではねられないよう教科書会社の自主規制、萎縮が始まったといえます。生徒に真実を伝え、健全な成長を保障するよう取り組むことが必要です。

### 総括討論

田中中央委員(対馬分) ゼロ分会が特支にはいくつかあります。組合員がいないことで、人事方針の改定の事前情報が入らなかつたと聞きました。組合を辞めた先生から問い合わせがあり、悩んだけれど情報を伝えました。感謝されましたが、複雑な思いです。



井川中 央委員 (諫早 商業)

義理と人情で組合に入し、そして義理と人情で分会の仕事をしている。組合加入のメリットは感じていない。必要だ

深松中央委員(長崎鶴津) 賃金交渉の速報を配布したとき、「休みより給料を上げて欲しい」という声の一方で「夏季休暇が5日になったのはすごい。組合のおかげ」とい

佐藤中央委員(東翔) 組合活動の活性化について、組合はつながりが大切なので、ネットの活用を模索してはどうか。昼休み、中央委員会の様



近藤中 央委員 (島原 商業)

スマホの利用で生徒が事件に巻き込まれる事例が多発しており、ネット活用について注意が必要だ。スマホやネ

鈴木中央委員

(鳴滝通信) 「イスラム国」人質事件について若い人たちが中心とするネット投票で、1円も払うなが



釣船中央 委員 (島 原工業)

ネットにはまると学力が低下する。上手く活用する力量があれば問題は少ないが、実際には多くの問題が起きてきている。今の環境が子どもたちにとっていいのか疑問。利便性や営利ではなく、そこにある危険性に気づき、行動する教育が必要だ。

割強。ネットでは偏った情報がある。国の責務に国民を守ることが当たり前だった時代から変わる票で、1円も払うなが

### 現業員金交渉

10%を超える大幅下げの県教委提案に

学校現場から大幅賃下げ絶対反対の声 高教組は、1月13日に第4回、1月22日に第5回の現業員金交渉を行いました。第4回交渉で県教委は、12月25日に提案した新給料表を修正し、引き下げ率を若干緩和しましたが、それでも平均10%を超える賃下げ提案(詳細は別掲)でした。高教組は、他職と比べて賃下げ幅が大きすぎ、その分、退職金も大幅減となることに何の考慮もないこと等(詳細は別掲)を厳しく批判し、再度の修正を強く求めました。これを受けた第5回交渉で県教委は、経過措置の緩和や、退職金についての経過措置などを検討していることを明らかにしましたが、具体的な提案は行いませんでした。高教組は、現場の現業員から寄せられた意見を県教委に示し、当事者となる現業員の声に応えることを強く求めました。第6回交渉の日程は未定です。

### 「差別的扱いだ」等の現業員の怒りの声

58分会の緊急団体署名を県教委に提出

高教組は、交渉と並行しながら、学校現場の全ての現業員に「現業員金交渉速報」を郵送して、交渉経過を伝えるとともに、「高教組への意見集約を呼びかけました。また、全ての分会に対して、現業員に対する大幅賃下げの撤回を求める緊急団体署名を要請しました。

その結果、「大幅賃下げは現業員にとって差別です」「現業員をいじめているのではないかな」等の怒りの声と、「住宅ローンもたくさん残っていて困ります」「退職後の生活設計に切実な問題が生じます」等の痛切な声が現業員から数多く寄せられました。これらの声を、交渉の場や文書で県教委に示すとともに、58分会から集約された緊急団体署名を県教委に提出して、現場の教職員の声に応えることを求めています。

<別掲1> 1月13日提示の修正提案の内容	
12月25日の提案	1月13日の修正案
平均引き下げ率 …11.4%	10.4%
引き下げ率の最高…11.5%	10.48%
引き下げ額の最高…44,000円	40,200円

- <別掲2> 県教委提案の問題点
- ① 同時期に行われる非現業員の「給与制度の総合的見直し」による賃下げが平均2%であるのに対して平均10%を超える賃下げ幅の大きさ
  - ② 非現業員には現給保障があるのに、現業員にはなく、4年間で4分の1ずつ(1万円前後)減額する経過措置
  - ③ 新給料表がそのまま適用されれば、多くの人が150万円前後となる退職金の減額

### 養護教諭Society

1月24日、養護教諭専門委員会は、大村市中央公民館(コミュニケーションセンター)で、恒例の「養護教諭のつどい」を開催し、9人(未組合員3人)の参加がありました。

午前中は、「みんなのお仕事見てみたい」と題して、各学校における養護教諭の「仕事」についての情報交換を行いました。今年には特に労働安全衛生委員会の活動を中心テーマとし、各学校から集約したアンケート結果や他県の状況などについて、パワーポイントも使って報告がありました。午後は、長崎短期大学の中西明人教授を講師に招いて「危機管理において養護教諭に求められるもの」というテーマで講演をしていただきました。講演では、佐世保の小学校・スポーツクラブ・高校等で起こった事件からの学んだ危機時の心の理解と対応について、事件発生から2・3日後まで、1週間、1ヶ月など時間の経過に沿って具体的に示してもらいました。また、カウンセラーとして実際の場面面で心がけたことや、養護教諭に求められるものなど、多くのことを学ぶことができました。参加者からも「自分自身でも示された事例に似たような出来事があったので、流れを確認しておくことは大切だ」と思いました。また、先生方の体験談も聞くことができ、共有できたのでよかったです。「これから座談会という感じの時に終わりになって名残惜しかったです。タイムリーな内容でした」等の感想が寄せられました。

1日がとても短く感じられるような有意義な会になり、帰りの駐車場でも、1時間近く話が弾みました。



養護教諭のつどい

### 中国・四国・九州ブロック

職場活動活性化、組織拡大強化ブロック交流集會 1月25日、広島県福山市で全教主催の交流集會が開かれ、長崎からは4人が参加しました。全教北九州、香川、高知から職場活動の活性化、青年主体の組織活動を中心とした報告がありました。また、分會会では各県の組織強化・拡大のとりくみを学ぶことができ、大いに勉強になると同時に、春からの「長崎高教組組織建設3か年計画」策定の参考になりました。